

# 八丈町 News Letter From Hachijo Town Assembly 議会だより

No.

168

2013.11.25

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます  
[http://www.town.hachijo.tokyo.jp/gikai/gikai\\_dayori/gikai\\_dayori.html](http://www.town.hachijo.tokyo.jp/gikai/gikai_dayori/gikai_dayori.html)



長崎県行政視察

長崎県小浜 全景



バイナリー発電所



群馬県行政視察

群馬県神津牧場 全景



牛の群れ

## 目次

### 第3回八丈町議会定例会

平成25年9月4、5、27日開催

- 依然きびしい企業会計 ..... 2
- 一般質問 ..... 3
- 行政視察レポート ..... 8
- 第3回定例会の質疑から ..... 9

# 第3回八丈町定例議会

(平成25年9月4、5、27日開催)

## — 依然厳しい企業会計 —



八丈町庁舎

人口が減少している町の現状では、水道、バス、病院の経営状態はいずれも厳しい状況にあります。9月議会は企業会計の決算審査が行われ、活発な議論が交わされました。

### ◎水道事業会計

前年度と比較して、50戸、207人と給水人口が大きく減少しました。

一方、水道管の布設替えや、施設の老朽化に伴う施設整備に支出が増加し、雨量の増加で給水量

が増えたとしても当分収益を見込める状況にはありません。議員からは「町に住民票を置かない利用者からは、契約時に保証金を預かれないか」「高額滞納者に対しては厳しい対応をとるべきだ」などの意見が出され、悪質な利用者については、手順を踏んだ上で給水停止などの措置をとり、健全な経営を維持するよう、町に対して求めました。

### ◎一般旅客自動車運送事業会計（バス事業）

路線バスについては、10年前とくらべ、利用者は5万人以上も減っているのが現状です。これまで、何度も住民から要望が出ている「小型バスの導入」について、町長がはじめ「職員に聞くと、大型も小型も経費に違いはないというが、私としては小型バスを入れたいと考えている」と答弁しました。高齢化が進んだ八丈町の住民の足として、小回りのきくデマンドバスの出番もあるかもしれま

せん。

### ◎病院事業会計

病院は、外科医の不在や院外処方に向けての取り組みなど多くの課題を抱えています。薬剤師や職員の超過勤務については、以前も取り上げられました。まだまだ解決への道は遠いという印象でした。議会では、何人かの議員からこれらに対する本気度が足りないと感じられました。院外処方のシステム化は来年度のスタートを目指し、準備が進んでいるところで。より効率的に、住民にとってはより便利になるよう期待したいと思います。

### ◎観光協会の支援は

凍結されていた町からの補助金600万円を執行したと、町長が報告しました。今後、観光施策については、観光協会だけに任せるのではなく、町とともに議会もしっかりと取り組んでいきます。

## 再生可能エネルギーについて

**答**  
ワーキンググループによって検討していくが、スケジュールの再調整もあり得る



岩崎 由美 議員

◆ 所要時間 18分

理「事業効果、利益の地元還元策」結果については、地元の意見等も反映させた上で、年内を目途に最終整理をしていく予定。

■ 26年度事業着手で最速5年後に実現との計画だが、今後のスケジュールは。

八丈島再生可能エネルギー利用拡大検討委員会が設置され、再生エネルギー事業がすすめられている。地球環境に貢献するだけでなく、産業の活性化や人口増加施策にも結びつく事業。

■ 住民説明会でのワーキンググループのグループ数とそれぞれのテーマは何か。

■ 企画財政課長 ワーキング数は4つ。それぞれのテーマは「事業実現のための基本調査」「電力の安定供給の確保」「事業主体の整

いての取り組みは。

■ 現在のところ小水力発電については具体的な計画はない。バイオマスに関しては、今後排出量の調査、発電設備の研究などを行っていく予定。

■ ゴミの問題と大きく関わるが、寿命が近いクリーンセンターの問題と共に考えていくべきでは。

■ 住民課長 ゴミの資源化は進むべき道。実証実験等を踏まえて利用できることは積極的に我々も関わっていききたい。

夏休みの団体対応について

**答**  
関係機関と合意形成、協力の上、可能な限り取り組んでいく

教育効果、将来の来島への動機づけ、町バスの利用促進など、夏休み期間に来島する子どもの団体の旅行

誘致への環境整備が重要と考える。

■ 夏休み期間に来島した子どもの団体数と人数は。

■ 産業観光課長 教育関係、商工関係で把握しているもののみの数だが、小学生を対象として7団体、合計653名。

■ 島内で実施可能な体験メニューを集約し、誘致に繋がるようなわかりやすい資料を作成するべきでは。

■ 役割分担を明確にしながら、全体の受け入れ体制等の基盤整備等も含め、関係団体合意形成、協力の上で可能な限り取り組んでいきたい。

■ 垂戸キャンプ場には、整備が整ったキャンプ場にはない秘境感があり、利用者には好評。今後トイレの整備などを進め、積極的な利用を図ることは可能か。

■ 垂戸キャンプ場は山梨か

らの受け入れが主。今後の整備に関しては、他のキャンプ場の利用状況等も考慮しながら、関係機関と連携して検討していきたい。

■ 町テレビ番組の影響で「魚突き」を行う観光客が増えてきた。マナーを守って実施すれば教育効果があるが、危険な例も見受けられる。八丈島でのルール作りが必要な時期に来ていると思われるが、町の考えは。

■ 港湾区域における利用活用についての協議機関として、八丈島地区海面利用協議会を設置している。夏期対策懇談会でもこの点についてのルール作りについては話し合われた。海面利用協議会の中でルール作りを関係団体合意の上、検討していきたい。

■ 看板等を早急に設置すべきだと思いが。

■ 関係団体と早急に話し合いをもち、対応していききたい。

# 新庁舎への路線バス乗り入れはい つになるのか

**答** 来年7月から9月頃になる予定



水野 佳子 議員

◆所要時間 19分

でも仕方がない。交通手段の確保は行政サービスの基本である。

岡路線バスが正式に新しい庁舎に乗り入れができるのはいつか。

**岡企業課長** 道路が完成し国に路線変更申請書を提出してから約6ヶ月かかるが、警察との事前相談により許可までの期間が短縮できればと考えている。

**岡旧町役場のバス停から新しい庁舎までの臨時的な措置を考えているか。**

**岡旧町役場バス停の利用者は少ない状況にある。路線バスの運行を役場裏交差点から新庁舎へ向かいUターンして戻する方法もある。しかし、路線変更申請の必要**

があり、特に坂上からの利用者は病院へ行く高齢者が大半であることから、変更申請の許可が下りるまでの対応として新庁舎を経由する運行にした場合、乗客に不便な状況となる。以上のことから、路線バスの運行による臨時的な措置としては向かないものと考えてる。

**岡** 答弁に対して大変がっかりした。弱者の切り捨てになるのではと痛感する。新庁舎に来る利用者が、たとえ一日一人であっても住民の足を確保するのが町の姿



町役場・病院間の道路

勢である。具体的にいつ頃の乗り入れになるのか。

**岡公営企業管理者** 道路完成が来年3月予定。それから許可が出るまで最長6月から9月頃になる。

**高齢者見守り隊を組織化する計画があるか**

**答** 社会福祉協議会が中心となり取り組む事業からの発展に期待している

八丈町は高齢人口といわれる65歳以上の人が約35%、全国平均の24%と比べても確実に高齢化が進んでいる。先日、社協より「第2次みつわ計画」が発表され、具体的な活動が始まった。しかし、現実には人手が足りず、まだ十分とはいえない。シルバー世代といわれる中にも、まだ元気で活躍している方がたくさんいる。ボランティアとして声をかけ、地域での見守り隊として働いてもらっ

てはと考える。

**岡** 高齢者や地域の繋がりを広げるための見守り隊を組織化する計画はあるか。

**岡福祉健康課長** 今年度から社会福祉協議会が中心となり「地域声かけ事業」を実施する。事業の目的は「各地域の『つながり』を推進するために、まずはあいさつなどの『声かけ』活動を活性化させる。そして、将来的には訪問しての『見守り』活動ができるような社会を目指す」というもの。平成25年10月を「あいさつ運動月間」として活動をするにあたり、9月12日に「地域声かけ事業に関する懇談会」を開催する。事業に関する説明を行うとともに、これからの事業展開についての意見交換も行う。事業のさらなる発展を見守りながら「高齢者見守り隊」に繋がるように町としても期待している。また、適切に支援を行って行く。

## 山下町政の成果と今後の課題について検証する

答

庁舎建設、汚泥再生処理センターほか成果、養護は計画を立てて取り組む



奥山 幸子 議員

◆所要時間 26分

山下町長が誕生して2年。「町政一新」の基本理念はどう実現されたか。

岡 これまでの成果は何か、実現できていないものは何か。

岡企画財政課長 これまでの成果としては、庁舎建設、汚泥再生処理センター、富士野球場の整備、人材育成、全国離島交流中学生野球大会、未満児待機対策、徴税専門員の起用や徴税対策の強化、国保会計の計画的赤

字補てんなどがある。実現できていないものは、防災対策、合併処理浄化槽の普及、観光客の誘致、第一次産業の後継者対策など。

岡島がかかえる課題について、今後2年度どのように実現させるのか。

岡今後の課題は、短期的なものは事業計画にもとづいて、その中で住民の理解が必要なのは説明会などを通じて計画の実現を図りたい。

岡町があげた実績は評価したい。職員の人材育成に力をいれているのは理解できるが、女性職員の登用については環境改善など、まだ課題がある。一方、町長の「町政一新」という観点か

らは、まず、住民主役の町づくりになっていない点があげられる。また、養護老人ホームについては、まったく進展がみられない。養護を建て替えるかどうかの判断は、高齢化社会をどう描くかという町の意思にかかっているので、決断をすべきだ。再生可能エネルギー開発も足踏み状態にあり、東京電力から買い上げた地熱館も、観光シーズン前に開館できなかったことは残念だ。さらに観光協会に対する対応は、後手に回ることなく前向きな観光行政を進めるべきだ。町長の決意表明をうかがいたい。

岡町長 養護については、きちんとした計画を立ててから取り組む。地熱開発、三根公民館は実現させる。酪農も基本的には支援していきたい。

## 八丈島産の牛乳の生産に支援を

答

しい ハード面の支援は厳

5月中旬より島の牛乳生産が止まり、学校給食の牛乳はL牛乳になり、ふれあい牧場の牛乳自動販売機はなくなった。残念に思っている住民や観光客は多い。島の産業、学校給食の食育、観光の観点から酪農の復活は必要と考える。

岡町はこれまでいくつか支援をしてきた。これに加えて、施設整備などのハード面の支援は可能か。また、

町が力を入れていく担い手育成研修制度の枠を、酪農を含めた農業全体に広げ、支援を強



販売を中止した「ふれあい牧場」の自動販売機

化することはできないか。

岡産業観光課長 国や東京都の現行の制度のもとでは、ハード面の支援は厳しい。

岡町は、学校給食の牛乳の安定供給を確保するために、生産者と定期的な話し合いをもつなどの支援をするべきだと思うが、いなか

岡関係機関と連携した「酪農関係対策会議」を実施している。今後、乳量の確保や経営の方針などにおいて、経営相談や専門家の派遣の支援事業が可能かどうかも含め検討する。

地熱発電は、住民不安を解消し進めるべき

答 住民の合意が前提



山下 松邦 議員

◆所要時間 5分

して地熱発電を大いに進めたいと考える。

固今のうちに徹底して調査し、その安全性の結果を発表すべき。

答 企画財政課長 具体的な調査は、住民を対象とした地熱発電に関しての勉強会を開催したり、地熱発電に伴う地域振興策を検討したりすることで、今後の地熱発電の拡大に繋げていくという目的で設置された「八丈島地熱発電利用拡大協議会」が実施。町と東京都が連携・協力する形で、商工会を幹事団体として、いくつかの民間団体で構成。調査内容は「周辺環境調査」として、現状の硫化水素の濃度測定、臭気拡散シミュレーションを行う。

現在運行している中之郷の東京電力地熱発電所から出る悪臭は、近隣はもとより、風向きによっては、桧立「ふれあいの湯」近くまで漂うこともある。東京都と連携し進めている地熱発電の増設が実現すれば、悪臭も今より拡大し、目に見えないだけに人体に有害なのかどうか不安に思う住民も多いかと思う。不安を解消し、住民賛同のもと地域活性化、観光振興のために、東京都と連携した検討会は進捗状況をできる限り開示

観測地点は、地域住民の方と連携し決めていきたいと考えている。このほかにも、臭気対策として有効と考えられる国内外の地熱発電所における技術事例調査、最新の臭気対策技術調査を予定している。調査結果は、勉強会や説明会を通して住民の方々に情報提供していきたい。

固危機管理の観点で、工事中に高温、高圧の事故がおきないよう施工には十分配慮し、噴出事故の際の対処法を事前にマニュアル化し住民説明をするべき。

答 東京電力と連携し、どのような事故が想定されるのかも含め検討する。住民の合意が大前提になるので、時間をかけるべきところは時間をかけ、できるだけだけの情報を提供しながら取り組む。



東京電力地熱発電所

外科医の常勤医師の確保が図られていないことによる影響は

**答** 整形外科専門外来を増やして対応している



菊池 睦男 議員

◆所要時間 50分

問 外科医の常勤医師の確保が図られず、内科医の兼務体制がとられているが、内科本業や医師への影響、患者への影響等をどう把握し、どう対応するのか。

答 事務長 外科▽整形外科診療を要する患者が多いので、整形外科専門の外来を例年の月2回から4回に増やし対応している。また、横浜の総合病院に勤務している医師を11月1日付けで採用する準備を進めている。

内科▽新規患者の外来、

問 夏の海水浴シーズンは中耳炎になる機会も多い。患者が多い時期には診療回数を多くするなど、問題が生じないような対応を。

答 経過観察が必要な場合は、耳鼻科の医師から内科の医師に引き継ぐなどの対応で問題は生じていない。診療回数増は医師からの声が多く聞かれるようであれば考える。

問 病院運営協議会や投書箱は機能しているか、実態と成果を明らかに。さらに、住民の医療に対する要求や意見を集約し、病院運営に反映させる役割を運営協議会が担う観点はあるか。

答 運営協議会は年3回開催。委員は2年の任期で16名（医師と歯科医師で3名、町職員3名、5地区から各2名）。入院実績等の現状報告を行い、意見提言をいただいて病院運営に反映している。投書は院長、事務長が内容を確認し、内容ごとに各科に指示し事業推進

に努めている。投書件数は年8件程度。

問 運営協議会に住民の声が反映されるよう改善を図るべき。

答 各地区から出た意見を運営協議会の中で話し合っている。病院運営に生かせるように機能を充実させたい。

問 投書8件は少ない。住民の声、内容を明らかにし、どのように解決して実際に病院運営に反映したのか、実績、対応、取り組みを報告した方がよい。病院に対しての信頼も増すし、病院側も住民のニーズに応えた良い医療をしていこうという気持ちになる。そのような双方向的やり取りが、投書箱、運営協議会にあると聞いている。

答 町長 運営協議会では、予算関係、病院経営の問題まで協議している。内容公開は話せる形をとりたい。

●こんな質問もしました

交通弱者に対する施策の充実を

質問 路線バスは交通弱者に対して配慮した運行内容になっているか。

答 病院、温泉に行く高齢者等の足として利用していたらいい。

質問 デマンドバスを検討したことはあるか。

答 観光は大型が必要だが、路線は小型を試験的に運行したいとの考えがある。

質問 他自治体が取り組んでいる乗り合いタクシー「買い物、通院タクシーチケット」の導入等が図れないか。

答 今後予想される社会保障制度の法律改正が住民に与える影響を分析し、町が実施すべき課題を検討する。その中のひとつとして考える。

# 行政視察レポート

長崎県 雲仙市および長崎県庁



## 長崎県雲仙市小浜のバイナリー発電 所を視察して

期 間 平成25年10月27～29日

視察者 菊池良、岩崎由美

廣江才、菊池睦男

八丈町は東京都とともに、再生可能エネルギーの島と位置づけその方向性を探っています。

東日本大震災以後、関東・東海・東南海地震の発生も危惧されており、実際起こった時の八丈町の発電事情を考えると、内燃力発電の燃料供給ストップが長期に渡ることも予想され、現在の地熱にプラスして、利用できる再生可能エネルギーを、早急に検討して行かなければなりません。そうした中、今回の視察の大きな目的のひとつとして、長崎県雲仙市小浜にあるバイナリー発電所を見学してきました。小浜温泉は、源泉が約100℃、日量1万5000トにものぼる湧出量のうち70%は未利用ということで、それを発電に使うための実証実験が平成23年11月より開始

されています。バイナリー発電は、「その特性として温泉の余剰熱水、地熱発電で利用した蒸気や熱水の二次利用、焼却場等の廃熱を利用できる。

CO<sub>2</sub>排気量が極めて少ない。施設がコンパクトである。」など八丈島での今後の発電事業を考える上での参考になることが多く、学ぶべきことが沢山ありました。八丈町でも今後再生可能エネルギーに取り組んで行かなければなりません。議会としても、今回の視察を生かし、ともに考えていかなければならないと強く感じました。

その他として、雲仙普賢岳の噴火災害、長崎県の離島航路・航空路の現状と県の取り組みについても学んできました。長崎県は離島も多く、また火山を有する県です。同じような環境を持つ東京都の島々に重ねて、色々と考えさせられる視察となりました。

報告者 菊池 良



群馬県 甘楽郡下仁田町および高崎市

## 群馬県神津牧場の取り組み

期 間 平成25年10月30日～11月1日

視察者 山下崇、奥山幸子

沖山宗春、土屋博

標高900～1300mの高原にある神津牧場を視察したのは、山が紅葉に染まる10月31日。八丈島では、今年5月に牛乳の生産が中断してから、放牧を基本とする新しい酪農を目指す動きがあり、導入した牛もジャージー種にこだわっているもので、参考になると考えました。

この牧場は、神津邦太郎が明治20年にジャージー種の「洋式山岳牧場」を開所し、バター製造をしたことに始まります。現在は財団法人となり、約400頭の敷地のうち100頭を牧場とし、30牧区を使って240頭が放牧されています。搾乳、製造、加工のすべてと乳製品の販売、レストランや売店経営まで行っています。製品は牛乳、飲むヨーグルト、

アイスクリーム、ソフトクリーム、バター、数種類のチーズなど多種類です。経営は「ぎりぎりです。」としながらも、年間1億4～5千万円の売り上げを維持しているそうです。

ジャージー肉利用も積極的におこなっていて、と殺は近くの長野県で行い、精肉にして卸業者に出荷し、そこから東京のレストランなどに販売しています（一般販売はしていません）。

広大な土地にすべての施設がそろっていること、観光牧場としても機能していること、無駄のない経営戦略を展開していることが、成功の秘訣と納得しました。観光の目玉にもなっている、搾乳時に山から下りてくる約100頭の牛の群れは、間近で見ると迫力満点で圧巻でした。

\*もう一つの視察先である、高崎市の養護老人ホーム「希望館」については、別の機会に報告します。

報告者 奥山 幸子

## 第三回定例会の質疑から

**農業担い手育成センター  
事業は他分野にも広げ  
べき**

奥山博文議員



農業担い  
手事業同様  
に産業、漁  
業、観光業  
などの他業  
種に対して  
も、国、東京都の補助があ  
る制度はないか。

産業観光課長 調査する。

菊池良議員



都立八丈  
高等学校園  
芸科との連  
携を。

町長 八丈

高校の生徒が卒業し利用し  
ていただけることが一番良  
いことだと思う。

山下崇議員



島の野  
菜、食糧生  
産について  
も見込みが  
あると思う

が町長はどう考えるか。

町長 花卉が基本で、その  
合間に野菜等を作るのが島  
の農業だと思うが、花卉園  
芸は生産に5年、10年とか  
かる。親の経営を引き継ぐ  
人はすぐ出来るが、そうで  
ない場合それだけ持ちこた  
えることが出来ない。指導  
者の問題もあり、自分の仕  
事をしながら指導していく  
のは大変な部分がある。

山口英治議員



作るもの  
が限定され  
ているよう  
な気がする。  
もう少

し視野を広

げ野菜でも観葉植物でもよ  
いという感じで間口を広  
げ、幅を広げた形でのセン  
ター運営を行うほうが良い  
のでは。

町長 その問題は委員会でも  
も出ているが、育成する指  
導者の問題等がある。

菊池睦男議員 センターの  
パンフレットは作成してい  
るか。

産業観光課長 今年、建物  
が完成する。最終的にどの  
ようなものになるか確定し  
ていないので作っていない。

**末吉小学校跡地利用状況  
は**

奥山幸子議員 今年試験  
的な試みでの実施だが、利  
用状況、食事等は。

企画財政課長 この夏、約  
100名の大学生が利用。  
末吉の方々を対象とした演  
奏会、六夜様参加、末吉の  
方を招待したバーベキュー  
を実施した。食事は、自炊  
や、お弁当を取ったところ  
もあるが、末吉の婦人会に  
お願いし、食材を末吉で購  
入して調理の手伝いをする  
形での提供を行ったところ  
もある。宿泊は布団を全員  
分もってきたところもあり、  
その辺が課題である。

**いじめの実態をどれぐら  
い把握しているか**

岩崎由美議員 いじめ防止  
対策推進法が公布されたが  
八丈島の小中学校の実態  
は。

教育課長 アンケートの結  
果「友達のことと嫌だなあ  
と思っていることがある」  
19・7%。「学年で友達に  
嫌なことをされていると思  
う人がいる」9・4%。  
「いじめ」または「いじめ  
に繋がる可能性がある」と  
判断した2件については、  
学校のほうで指導を行っ  
た。

**多目的ホールの技術支援  
業務は釈然としない**

菊池睦男議員 舞台、照明、  
音響は1日1万8000円で  
島の技術者を頼み運営し  
ていくと聞いたが、正式決  
定か。

教育課長 技術者研修は町  
でやるが、技術者への1万  
8000円は利用者が支払  
う。

菊池睦男議員 町は技術者  
養成に735万円を支出  
し、更に舞台、照明、音響  
を雇う場合、利用者は各1  
万8000円を支払うこと  
になる。町民からすれば税  
金の二重払いになる。おじ  
やれ運営委員会も承知し、  
賛同を得られているか。

町長 将来を見据えると、  
島の人を育てないと島外か  
ら技術者を呼ぶことで莫大  
な予算がかかり、ホールの  
使い勝手が悪くなると考え  
た。島で技術的に使える人  
を一人でも多く養成したい  
という考えである。

教育課長 おじゃれ運営委  
員会とは十分に相談した。

●その他

◎過疎化対策のため建築し  
た坂上の町営住宅の家賃  
上昇を抑制する対策はな  
いか

◎八丈島で発見されたアジ  
サイがあるので、八丈プ  
ラザ公園に植栽を  
なども質問しました。

## 町ナビ

11月7日から姉妹島、南大東島の小中学生10人が体験交流学习で来島した（写真はふれあい牧場で）。12月には、南大東島が舞台の映画『旅立ちの島唄～十五の春～』の上映会が多目的ホールおじゃれで行われる。南大東島の景色や暮らしぶりを見られるのが楽しみ。



### 定例会・臨時会主な議決事項

#### 7月臨時会

平成25年7月5日開催

- 唐橋横原宮ヶ路線道路改良工事請負契約

#### 8月臨時会

平成25年8月6日開催

- 桧立中之郷線道路改良工事請負契約  
ほか契約1件

#### 9月定例会

平成25年9月4、5、27日開催

- 八丈町教育委員会委員の任命の同意について

- 平成25年度八丈町一般会計補正予算  
ほか補正予算5件

- 八丈町税条例の一部を改正する条例  
ほか条例制定・改正・規約改正9件

- 八丈ブラザ公園整備工事（公園）請負契約  
ほか1件

- 平成24年度八丈町水道事業会計決算認定  
ほか決算認定2件

- 議員の派遣承認について（第64回全国漁港  
漁場大会）

- ほか議員派遣1件

#### 全員協議会開催

平成25年9月27日開催

- 教職員住宅建設候補地について

- 60周年記念事業メニュー応募状況報告

- 町有地の使用許可について

## 編集後記

この秋、台風26、27号が襲来し、八丈島に甚大な被害をもたらしました。事前の情報をキャッチし、雨戸を閉め、ベニヤを張り樹木の枝を切って準備していたのにこの結果です。自然災害は予想をはるかに超えていました。特に、大島では記録を塗り替えるような激しい雨で山

津波が起き、土石流によって大惨事が起きてしまいました。心よりお見舞い申し上げます。行政のすべき役割を見直し、住民の意識を高め、何が起きてもすぐに対応できる態勢をつくっておかなければなりません。

奥山 幸子

発行人 八丈町議会議長 小澤一美

編集 議会だより編集委員会 委員 山下崇 岩崎由美 水野佳子 奥山幸子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷2551-2 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-5575